

前期基本計画 平成29年度 施策方針評価書

政 策 : 03 次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します

基本施策 : 02 企業集積と産学官連携の推進

施 策 : 01 inove(イノベ)等への企業集積の促進と産業立地構想の策定

施策担当職・氏名	企業振興課長 熊谷 和久
-----------------	--------------

1. 施策の平成29年度までの実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

	イノベーションパーク及び盛岡西リサーチパークへの企業誘致を促進するとともに、企業数の増加や誘致企業の成長に伴い、集積の加速化を図るための施策を展開します。
--	---

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし IPUイノベーションセンター・パークへの立地件数 単位 %	18	20	21	23	25	26	C	
			20	19	16	-	-	△25.0	
2	幸福 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じている人の割合 単位 %	39.5	40.5	42.5	43.5	45	46	D	
			40.4	40.4	36.3	-	-	△49.2	
	単位								

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推 移	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
1	2563 企業誘致事業 誘致企業数 単位 件	目標値	4	3	3	3	3	3
		実績	7	4	3	1	-	-
2	6283 滝沢市IPUイノベーションセンター管理運営事業 滝沢市IPUイノベーションセンター入居室数 単位 入居室数	目標値	15	17	19	21	21	21
		実績	18	18	22	19	-	-
3	7409 岩手県立大学周辺産業集積整備事業 岩手県立大学周辺への企業の立地件数(地連・イノベ含) 単位 件	目標値	15	17	20	22	23	24
		実績	18	22	22	20	-	-
4	11452 滝沢市企業立地補助事業 誘致企業数(企業誘致事業目標と同じに設定) 単位 件	目標値	4	3	3	3	3	3
		実績	7	4	3	1	-	-
	単位	目標値						
		実績						

前期基本計画 平成29年度 施策方針評価書

政 策 : 03 次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します

基本施策 : 02 企業集積と産学官連携の推進

施 策 : 01 inove(イノベ)等への企業集積の促進と産業立地構想の策定

施策担当職・氏名 企業振興課長 熊谷 和久

2. 施策の実現に向けての平成29年度までの取り組み状況を分析する

(1) 施策目標の達成(実現)に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成(実現)状況

C	一部達成した
<p>盛岡西リサーチパークは、全区画分譲に至っております。滝沢市IPUイノベーションパークへの企業集積については、イノベーションセンターからパークへの立地する企業が生まれ、イノベーションパークにおけるモデルケースが生まれています。反面、イノベーションセンターへの入居率が21室中19室から、15室に落ちていることから、新規入居企業獲得への対応が引き続き求められています。</p>	

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成29年度の重点課題の達成(実現)状況

C	一部達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ inove(イノベ)等への起業集積の促進と立地企業、市内企業が様々な連携により滝沢市に立地して良かったと感じ、集積の効果が波及するためのマッチングや支援の実施 ・ 盛岡西リサーチパークの区画規模の産業用地確保のための調査研究 <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イノベーションセンターシェアデスクへの入居2件。盛岡西リサーチパークは、平成28年度完売。 	

3. 施策の実現に向けての平成29年度実施後での変化を認識する

(1) 施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<p>加速する人口減少社会において、労働力確保のためにAI(人工知能)やIoT(internet of Things)分野が成長分野として見込まれており、システムエンジニアの需要の拡大と若年層の人口減少が相まって、IT技術者の不足が顕著となってきています。また、土地を選ばないICT産業のソフト関連分野については、全国で企業誘致が進み、競争環境は激化しています。</p>	

(2) 基本施策との関連性から施策の見直し

A	必要なし
<p>基本施策である「企業集積と産学官連携の推進」において、本施策は企業集積の計画を示すものであり、盛岡西リサーチパーク、滝沢市IPUイノベーションパークへの更なる集積に向け引き続き必要な施策です。</p>	

4. 施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 平成31年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <p>企業誘致環境は、ますます厳しいものとなりますが、岩手県立大学に隣接することの優位性をいかに具体的に示せるかが課題となることから、県、県大と滝沢市において明確なビジョンの構築に向けた取組が必要です。</p> <p>【引き継ぎ課題】</p> <p>現在、県と県大との関係性が当初の滝沢村IPUイノベーションセンター設置時に携わった方々の人事異動等に伴い、想いの共有が図られていない状況にあります。また、岩手県のスタンスが自動車産業中心としたICT産業の融合であることから、県の支援を直接的に受けられる状況にないことも事実です。</p>	

